

「ならのがんに関する患者意識調査」の実施について（案）

1 目的

がん患者の受療の状況や受けた医療に対する満足度、がん医療に関する認知度等を調査することにより、がん患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後のがん対策の基礎資料を得る。

- ①第2期奈良県がん対策推進計画（平成25年3月）の進捗管理として、がん患者の満足度等の観点から測定する。
- ②がん患者の医療に対する満足度等について、調査協力医療機関へフィードバックする。

2 対象

がん患者（入院、外来）ご本人 約2,000人

*病状により記入が困難な場合は、家族などの補助を得て記入していただく場合もある。

*がんの告知を受けていない方やメンタル等のサポートが必要ながん患者は、医療機関の判断により、調査対象とはしない。

3 調査期間

平成25年10月1日（火）～平成25年10月31日（木）の1ヵ月間

回答締切：平成25年11月15日（金） 消印有効

4 調査方法

協力医療機関から、がん患者に調査票と返信用封筒を手渡していただき、がん患者本人が調査票に記入後、郵送で提出

5 調査協力要請医療機関

県内のがん診療連携拠点病院・支援病院、その他がん診療を行っている医療機関

6 調査項目（全41問、フェイスシート11問）

- ①医療機関で受けた診断や治療（17問）
 - ・診療・治療内容等の満足度、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、緩和ケア
- ②今後の治療・療養（7問）
 - ・地域連携クリティカルパス、在宅緩和ケア
- ③相談支援・情報提供（8問）
 - ・がん情報の満足度、相談支援センター、患者サロン
- ④治療と就労（6問）
 - ・就労状況の変化、事業主の理解度
- ⑤全般（3問）
 - ・県、医療機関への意見

奈良県がん対策推進計画(第2期計画)素案 目標値一覧

分野別目標		目標値		出典
区分	目標	現状値(基準値)	目標値	
1 がん医療				
(1)がん医療の提供				
最終目標	5年生存率	-	5年生存率(H21年分)の公表(H28年度) ※5年生存率を公表後、目標値を検討し、設定	-
	患者やその家族の満足度 (がん治療に関して不安や不満に思う人の減少)	<参考値> ・「治療方針の決定について医療機関からの説明が不十分である」と答えた人の割合 19.6%(H22)	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
中間目標	県内がん診療連携拠点病院の県民治療カバー率	72.6%(H22)	増加	がん診療連携拠点病院 院内がん登録 全国集計報告書(独)国立がん研究センターがん情報センター)
●がん診療体制の充実				
施策目標	悪性腫瘍手術の実施件数 (人口10万人当たりの実施件数(1ヶ月分))	29.5件 (H23.9)	増加	医療施設調査(厚生労働省)
施策目標	放射線治療(体外照射)の実施件数 (人口10万人当たりの実施件数(1ヶ月分))	163.6件 (H23.9)	増加	医療施設調査(厚生労働省)
施策目標	外来化学療法の実施件数 (人口10万人当たりの実施件数(1ヶ月分))	162.4件 (H23.9)	増加	医療施設調査(厚生労働省)
施策目標	新県立奈良病院の整備	-	H28年度中に開院	-
施策目標	南和の救急病院(急性期)の整備	-	H27年度中に開院	-
施策目標	がん診療連携拠点病院等におけるチーム医療の整備状況	-	2年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	-
●がん診療情報の提供				
施策目標	患者やその家族の満足度(再掲)	<参考値> ・「治療方針の決定について医療機関からの説明が不十分である」と答えた人の割合 19.6%(H22)	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
(2)緩和ケア				
最終目標	患者やその家族の満足度 (身体的・精神的痛みが軽減され、がん治療に関して不安や不満に思う人の減少)	<参考値> ・「診断後の精神的サポートが不十分である」と答えた人の割合 31.3%(H22)	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
中間目標	緩和ケア外来の受診患者数	2,025人 (H23)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
中間目標	緩和ケアチームに対する新規診療症例数	92件 (H24.6.1~7.31)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
中間目標	がん患者の在宅死亡割合	15.2% (H23)	増加	人口動態調査(厚生労働省)
●患者やその家族のニーズの把握				
施策目標	がん患者とその家族の満足度等の評価方法についての検討結果の公表	-	3年以内に公表	-
●緩和ケア提供体制の整備				
施策目標	緩和ケア外来の受診患者数(再掲)	2,025人 (H23)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
施策目標	緩和ケアチームに対する新規診療症例数(再掲)	92件 (H24.6.1~7.31)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
施策目標	がん患者の在宅死亡割合(再掲)	15.2% (H23)	増加	人口動態調査(厚生労働省)
施策目標	がん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了者数	473人 (H24)	1,000人 (H29)	一般型緩和ケア研修会開催報告書(奈良県)
施策目標	在宅緩和ケア研修受講者数	68人 (H24)	250人 (H29)	奈良県
施策目標	医療用麻薬の消費量	32.86g/千人 (H22)	増加	日本における医療用麻薬消費量(厚生労働省)
●県民への緩和ケアの普及啓発及び情報提供の推進				
施策目標	緩和ケアについての認知度 (「緩和ケアについて意味も含めて知っている」と答えた人の割合)	42.2% (H22)	70% (H29)	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
施策目標	県ホームページのアクセス数 (患者必携・主治医必携ガイド)	337件 (H24.6~9)	増加	奈良県

奈良県がん対策推進計画(第2期計画)素案 目標値一覧

分野別目標		目標値		出典
区分	目標	現状値(基準値)	目標値	
(3)地域連携				
最終目標	患者やその家族の満足度 (在宅療養に関して不安や不満に思う人の減少)	<参考値> ・「急に状態が悪くなった時の対応の仕方がわからない」と答えた人の割合 28.0%(H22) ・「近くに在宅医療を担当する先生がいない」と答えた人の割合 35.7%(H22)	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
中間目標	地域連携クリティカルパスを適応した患者の延べ数	16件 (H24.6.1~7.31)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
●患者やその家族のニーズの把握				
施策目標	がん患者とその家族の満足度等の評価方法についての検討結果の公表(再掲)	-	3年以内に公表	-
●地域連携体制の整備				
施策目標	地域連携クリティカルパスを適応した患者の延べ数(再掲)	16件 (H24.6.1~7.31)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
施策目標	「がん地域連携指導科」施設基準の届出施設数	177施設 (H24.10)	増加	奈良県内の施設基準の受理状況(近畿厚生局 奈良事務所)
施策目標	「前立腺がん」の「私のカルテ」の作成	-	2年以内に作成	-
施策目標	患者情報共有のための連携ツールの作成	-	2年以内に作成	-
●県民への地域連携体制、在宅療養の普及啓発及び情報提供の推進				
施策目標	在宅療養についての認知度 (「在宅医療(在宅緩和ケア)を知っている」と答えた人の割合)	28.9% (H22)	50% (H29)	がん医療に関するアンケート調査(平成22年 県実施)
施策目標	県ホームページのアクセス数 (私のカルテ)	517件 (H24.6~9)	増加	奈良県
2 がん患者等への支援				
(1)相談支援及び情報提供				
最終目標	患者やその家族の満足度 (がん治療に関して不安や不満に思う人の減少)	<参考値> ・「主治医の他に相談先がない」と答えた人の割合 39.0%(H22)	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
中間目標	相談支援センターにおける利用者の満足度	<参考値> ・がん相談支援センターにおける相談について「相談事が解決した」と答えた人の割合 63.6%(H24.2)	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	がん相談支援センター利用状況調査(奈良県)
●患者やその家族のニーズの把握				
施策目標	がん患者とその家族の満足度等の評価方法についての検討結果の公表(再掲)	-	3年以内に公表	-
●相談支援機能の強化				
施策目標	相談支援センターの利用者数	2,591件 (H23)	8,000件 (H29)	奈良県
施策目標	相談支援センターの認知度	24.7% (H22)	50% (H29)	がん医療に関するアンケート調査(奈良県)
施策目標	相談支援センターへの他施設からの利用者数の割合	33.8% (H24)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
施策目標	国立がん研究センター研修を受けた相談員(専従、専任)の割合	57.1% (H24.9.1)	増加	がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院 現況報告(奈良県)
施策目標	県内医療機関の相談窓口体制の整備状況	25施設 (H23)	増加	がん相談支援窓口に関する状況調査(奈良県)
●ピア・サポート活動の活性化				
施策目標	患者サロンの利用者数	609人 (H23)	増加	奈良県
施策目標	患者サロンの認知度	-	3年以内に目標値を設定	-
施策目標	がんピア・サポーター数	33人 (H24)	50人 (H29)	奈良県
●県民への情報提供の推進				
施策目標	がん治療についての認知度 (がん治療方法について情報が少ないと答えた人の割合の減少)	35.8% (H22)	25% (H29)	がん医療に関するアンケート調査(平成22年 県実施)
施策目標	県ホームページのアクセス数	3,613件 (H24.4~9)	増加	奈良県
(2)がん患者の就労を含めた社会的な問題				
最終目標	患者やその家族の満足度 (就労等に関して不安や不満に思う人の減少)	-	3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定	-
●患者やその家族のニーズの把握				
施策目標	がん患者とその家族の満足度等の評価方法についての検討結果の公表(再掲)	-	3年以内に公表	-
●相談支援・情報提供の推進				
施策目標	就労と治療に関する相談支援体制についての検討結果の公表	-	2年以内に公表	-
●事業者への啓発				
施策目標	県内事業所におけるがん患者についての理解度	-	3年以内に課題を明らかにし、測定方法を設定	-
施策目標	支援体制のある事業所の割合	-	現況値を把握し、3年以内に目標値を設定	-

ならのがんに関する患者意識調査(案) 調査項目一覧

	NO	項目	計画評価 指標関係	設問内容の作成に 当たり参考した調査等
フェイスシート	F1	記入者の確認		
	F2	年齢		
	F3	性別		
	F4	住所(市町村名)		
	F5	がんと最初に診断された時期		
	F6	最初のがんと診断された部位		
	F7	現在受診している病院名		
	F8	入院・外来の別		
	F9	現在の治療状況		
	F10	病院を選んだ理由		受療行動調査(厚生労働省)
	F11	病院を選択する際の情報源		受療行動調査(厚生労働省)
医療機関で受けた診断や治療	問1	診療・治療内容等の満足度	○	受療行動調査(厚生労働省)
	問2	診療・治療内容等について不満である理由等		
	問3	医師からの説明の有無、説明の理解度	○	受療行動調査(厚生労働省)
	問4	医師から受けた説明に対する疑問や意見	○	受療行動調査(厚生労働省)
	問5	医師のがん患者の気持ちに対する配慮		
	問6	医師の配慮を感じた/感じなかった点等		
	問7	セカンドオピニオンの必要性		受療行動調査(厚生労働省)
	問8	セカンドオピニオンの経験の有無		受療行動調査(厚生労働省)
	問9	セカンドオピニオンの満足度		受療行動調査(厚生労働省)
	問10	セカンドオピニオンの評価理由		
	問11	セカンドオピニオンを受けなかった理由		受療行動調査(厚生労働省)
	問12	心身の苦痛、生活上の心配の有無		受療行動調査(厚生労働省)
	問13	緩和ケアの認知度	○	がん対策に関する世論調査(内閣府)
	問14	緩和ケアの開始時期	○	がん対策に関する世論調査(内閣府)
	問15	緩和ケアの経験の有無		
	問15-1・2	緩和ケアの提供の迅速性/改善度	○	
	問16	緩和ケアを受けなかった理由		
問17	「がん患者さんのための患者必携」の認知度			
今後の治療・療養	問18	2人主治医制(地域連携クリティカルパス)の認知度	○	
	問19	クリティカルパス利用に対する考え		
	問20	在宅緩和ケアの認知度	○	平成22年調査項目
	問21	在宅緩和ケアに対する考え	○	
	問22	在宅緩和ケアが困難な理由		
	問23	心身の苦痛が伴う場合に希望する療養場所		
	問24	安心して在宅療養をするために必要な事項		
相談支援・情報提供	問25	相談支援先、情報提供源	○	
	問26	がん情報の満足度	○	平成22年調査項目(一部)
	問27	がん相談支援センターの認知度	○	平成22年調査項目
	問28	がん相談支援センターを利用しなかった理由		
	問29	患者サロンの認知度	○	
	問30	患者サロンの情報源		
	問31	患者サロンへの参加		
問32	患者サロンに参加しなかった理由			
治療と就労	問33	治療と就労の両立	○	
	問34	がんと診断されたときの就労状況		
	問35	がんによる就労状況の変化		
	問36	仕事の継続についての事業主の理解・支援	○	
	問37	仕事の継続に当たり必要な対応・制度	○	
	問38	生活上の困難に関し充実すべき情報提供・相談支援体制	○	
全般	問39	県のがん対策への要望		がん対策に関する世論調査(内閣府)
	問40	療養生活におけるよかったこと/不満・疑問		
	問41	医療機関、行政に対する自由意見		